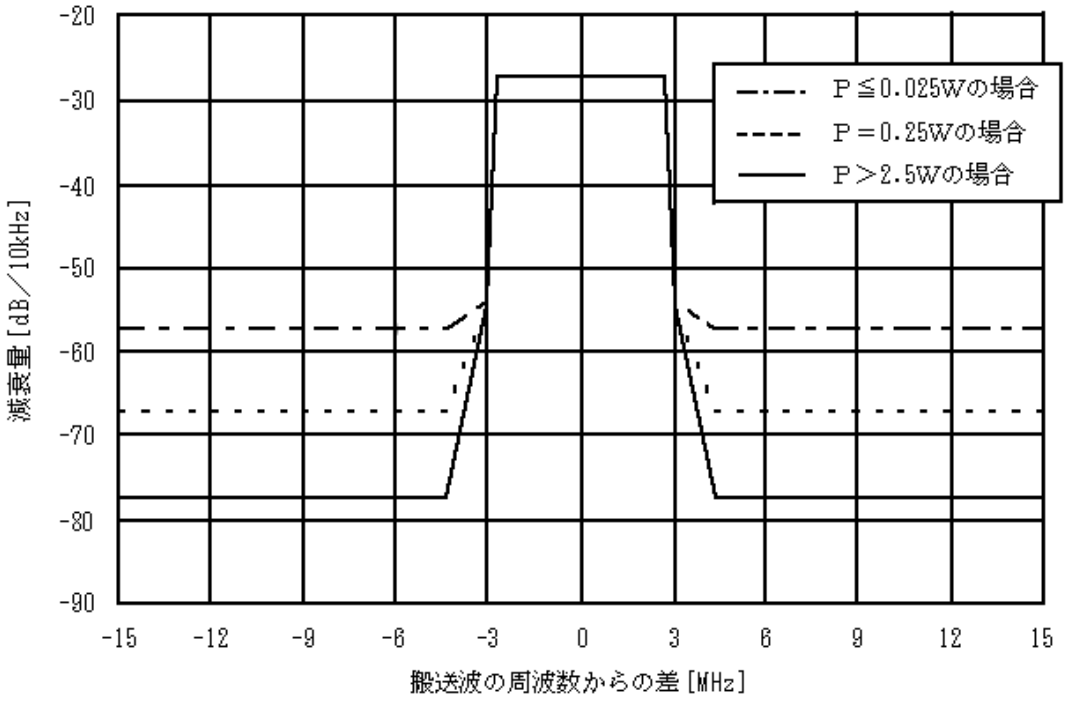
別図第四号の八の八　搬送波の変調波スペクトルの許容範囲(第37条の27の10第2項関係)

1　デジタル放送の標準方式第3章及び第3章の3に定める放送を行う地上基幹放送局の搬送波の変調波スペクトルの許容範囲



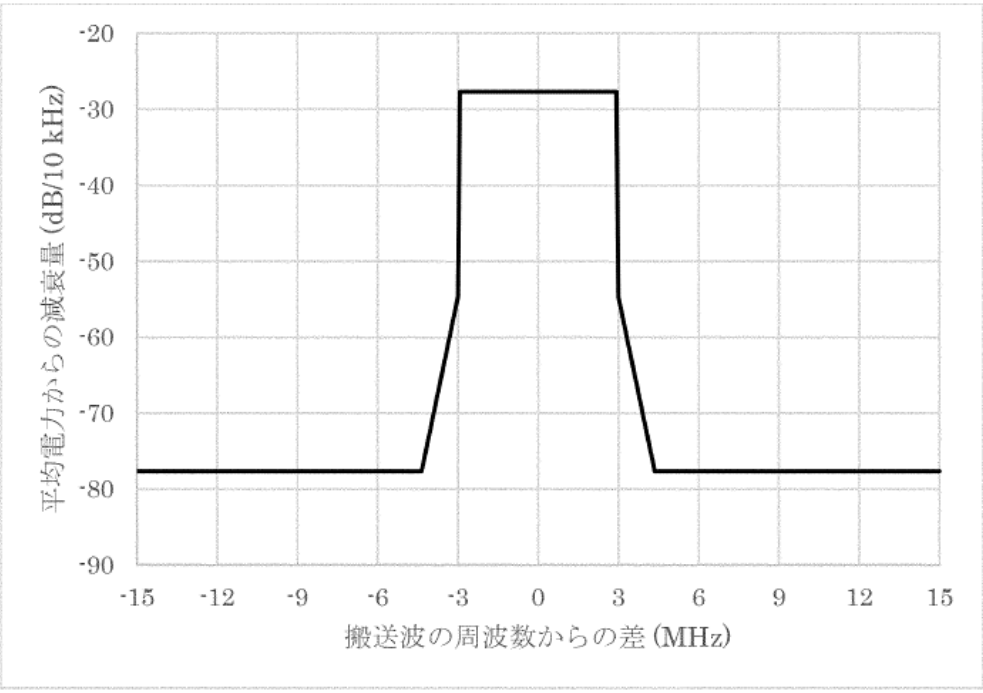
搬送波の周波数からの差	平均電力Pからの減衰量	規定の種類
±2.79MHz	－27.4dB／10kHz	上限
±2.86MHz	－47.4dB／10kHz	上限
±3.00MHz	－54.4dB／10kHz	上限
±4.36MHz	－77.4dB／10kHz*1*2	上限

＊1　空中線電力が0.25Wを超え2.5W以下の無線設備にあつては－(73.4＋10logP)dB／10kHz、空中線電力が0.25W以下の無線設備(＊2の場合を除く。)にあつては－67.4dB／10kHzとする。

＊2　空中線電力が0.025Wを超え0.25W未満の無線設備にあつては－(73.4＋10logP)dB／10kHz、空中線電力が0.025W以下の無線設備にあつては－57.4dB／10kHzとする。

注　複数波同時増幅を行う無線設備の隣接チャネル間については、上表にかかわらず、平均電力Pからの減衰量－27.4dB／10kHzを上限とすることができる。

2　デジタル放送の標準方式第3章の2に定める放送を行う地上基幹放送局の搬送波の変調波スペクトルの許容範囲



搬送波の周波数からの差	平均電力Pからの減衰量	規定の種類
±2.92MHz	－27.6dB／10kHz	上限
±3.00MHz	－54.6dB／10kHz	上限
±4.36MHz	－77.6dB／10kHz	上限